

## クラスの様子 (6月号)

### ● ひよこ組

**今月の目標**：ひとりひとりの健康観察を丁寧に行い、ゆったりとした関わりの中で心地よく過ごせるようにする。

おむつ交換した時には、「さっぱりしたね。気持ちよくなったね。」、ミルクや離乳食の時には、「いっぱい食べたね。美味しかったね。」などの言葉をいっぱいかけるようにしています。大好きな人に共感される心地よさをたくさん体感して、“人って暖かいなあ。”って思えるように日々関わっています。最近はケラケラと声を出して笑ったり、もっともっととふれあい遊びを求めたり、

「あー。うっくん。」おしゃべりもたくさんして笑顔がいっぱいです。  
(中村)



### ● りす組

**今月の目標**：保育士が見守る中で、好きな遊びを十分に楽しむ

5月に入り、お友達が4人増え、月齢や発達を配慮しながら2つのグループに分けてお散歩に出かけたり、西の広場で遊んだりしました。また、室内では製作コーナーで絵の具を指につけて模様や色ぬりをすることを楽しみました。

生活面では、オムツがぬれていない時はトイレに誘ったりと、個々の様子を見ながらトイレトレーニングをしています。食事では、フォークを使って食べられる子、手づかみの子と様々ですが、自分で食べようとする気持ち、みんなで食べることの楽しさやいろいろな食材を口にしてみようとする気持ちを大切にしています。また、朝の集まりでは、一人ひとりの名前を呼び、友達や周りの大人にも関心もてるように保育していきたいと思っています。  
(片岡)



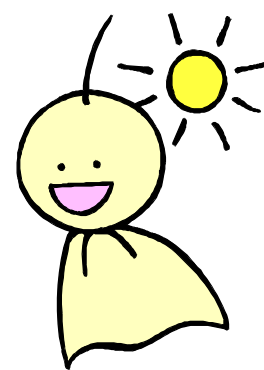
## クラスの様子(6月号)

### ● 赤うさぎ組

今月の目標 : 自分でできることは自分でできるようにしていく。

気候も暖かくなり、赤うさぎ組では色々な所にお散歩に出かけています。てんとう虫やたんぽぽを見つけたり、お友だちと手を繋いで歩くのを楽しんだりと色々な姿があります。

また、最近では身辺整理や排泄の際、自分でしようとする姿が多く見られます。ズボンや靴の脱ぎ履きを自分でできる子がほとんどなので、自分でしようとする気持ちを大切に、できたことはほめて、成功体験をいっぱい積み重ねていきたいと思います。(矢下)



### ● 白うさぎ組 : 今月の目標 : お友達と遊ぶ楽しさを味わう

新しい生活にもずいぶん慣れてきました。

お友達と仲良く遊ぶ姿や泣いている子を心配する姿をよく目にします。女の子同士絵本を片手に保育士の真似をしたり、ブロックや積み木を使いトンネルを作り車で遊んだりとお友達と一緒に遊ぶことが増えてきました。これからも、お友達との関わりを大切にしていきたいと思います。園生活にも慣れてきたので、少しずつ自分で出来ることを増やしていけるよう“できた”という自信につなげていきたいと思います。(伊藤)



## クラスの様子(6月号)

### さくら組

- 今月の目標 : 友だちや保育者と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

さくら組での生活も2ヶ月が経ちました。自分一人で身の整理ができるようになったり、笑顔で登園できるようになったり、小さい子に自分から関わられるようになったりと、新しい環境にも少しずつ馴染み、一人ひとりの成長がみられました。給食では、年中、年長児が年少児に箸の持ち方を教えたり、配膳の時に声をかけ連れて行ってくれる姿がありました。子どもたちは生活の中で、互いに支え合い、色々なことを学んでいるんだということを感じ、嬉しく思いました。このような子どもたちの姿を大切にしながら、これからも保育していきたいと思えます。

(黒宮)

### くぬぎ組

- 今月の目標 : ごっこ遊び、集団遊びなど異年齢で遊ぶことを楽しむ。



過ごしやすい気候の中、戸外でフエオニをして身体を動かしたり、砂遊びで粘土だんごやさら砂を集めたり、アリの観察をしたりして過ごしています。友だちとの関わりも増え一緒に遊んで“遊びを共感し合う姿”も多く見られる様になりました。友だちと関わり、遊びを通して、五感を育ていける様な環境や設定を提供していきたいと思えます。(山本)

### とちのき組

- 今月の目標 : クラスでの活動を大切に、関わりを深める。  
: 一人ひとりが安心感をもって生活していく。



5月に入り、新入児の子ども達も園の生活に慣れ始め、毎日を楽しそうに過ごしています。今では子ども達もしっかりとお互いの名前や顔を覚え、年少児が自然と自分のグループのお姉ちゃん、お兄ちゃんを頼ったり、逆に年長児、年中児の方から積極的に年少児のお世話をし、自ら関わっていくような姿も増えてきました。一日一日ごとに「とちのきぐみ」がひとつのクラスとして一体感をもってきていることを強く感じます。これからは更に“クラス”としての活動、時間を大切にしていきながら、子ども達同士、担任との関係を深めていき、子ども達にとって「とちのきぐみ」が安心できる場所、大きなもうひとつの“家族”のような存在になっていけるといいなと思えます。

(安田)



ミニ運動会のリハーサル風景